

放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- 環境省では、環境中に放出された放射性物質対策を進めると同時に、放射線や地域の環境再生への取り組みなどについて、わかりやすい情報を提供しています。
- 放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています。

これまでの活動状況

4月30日時点

項目	2023年度 4月分	2023年度 累計	
■放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター (単位：回)			
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	0	0
	専門家派遣	0	0
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	0	0
	車座意見交換会	0	0
■環境再生プラザ (単位：回)			
・専門家派遣	自治体など	1	1
	小中学校など	0	0
	その他	1	1
・移動展示	0 (0日)	0 (0日)	
■その他 (WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)			
・内部被ばく検査 (WBC)の支援	2	2	
・ガンマカメラ活用 リスクコミュニケーション支援	9	9	

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター)

放射線リスクセンターでは、放射線による健康不安等の各種相談対応、専門家派遣、研修会やセミナーの開催、線量測定等の支援を行っています

◆研修会の例



放射線の基礎等、必要な知識・技術の習得を目指した研修会を開催しています（オンライン開催も可能）

◆専門家派遣の例



現地での放射線量の測定や自治体等が主催する住民への説明会等へ適切な専門家を派遣します

◆車座意見交換会の例



日常感じている放射線に関する食品や健康影響における疑問について、少人数で意見交換を行います



福島第一原子力発電所や廃炉資料館等の施設を見学し、現在の状況等について意見交換を行います

(環境再生プラザ)

◆専門家派遣

<自治体など>

・ 4/12 伊達市防災危機管理課

<その他>

・ 4/19 UR都市再生機構東北震災復興支援本部



職員向けの放射線研修 (4/19・UR都市機構)



GMサーベイメータで放射線測定を実演 (4/19・UR都市機構)